

あした

10月号

里山にそよぐ秋の風

げまだすけん!
熊本! 芦北町

大野向原の棚田



展示された「まとい」



芦北町消防団
松崎政司
団長

消防団にとって最高の栄誉である「まとい」を受章できたことはこの上ない喜びです。団員の日頃の活動や活躍はもとより、先輩団員や関係者の皆さまの深いご理解とご協力の賜物であります。今後、これまでに先輩団員が築かれた伝統と精神をしっかりと守り、「自らの地域は自らで守る」という使命感のもと、団員一丸となって消防団活動に取り組んでいきます。

特別表彰「まとい」とは

昭和 54 年度に創設され、全国約 2,200 余りの消防団の中から毎年度 10 団体に限り授与されており、消防団にとっては最高の栄誉である表彰です。

日本消防協会表彰旗を授与されてから 10 年以上の期間にわたって、抜群の成績を維持し、他の模範となると認められる消防団に授与されます。

今回の受章は九州では本町のみで、県内では平成 21 年度に菊池市消防団が受章して以来 9 団体目の栄誉となりました。

芦北町消防団が今年 3 月、日本消防協会から特別表彰「まとい」を受章しました。毎年全国で 10 団体が表彰されていますが、今年は本町消防団が九州では唯一の受章団体となりました。

熊本地震により延期となっていた受章記念祝賀会が 9 月 21 日、町内の旅館で行われ、関係者約 60 人が最高栄誉の受章を祝いました。

竹崎町長は「仮に全国 2200 の消防団すべてに行き渡るとした場合、220 年もの期間が必要で、とても価値のある受章です」とたたえました。

松崎政司消防団長は受章にあたっての感謝の言葉と今後の決意を述べました。「まとい」は高さ約 2 メートルで上部には日消の文字とともに金箔が施されています。現在、役場本庁舎の玄関ロビーに展示しお披露目されています。



受章にあたり謝意を述べる松崎団長



受章をたたえる竹崎町長



日本消防協会定例表彰式でまといを受章した 10 団体（3 月 8 日）
＝日本消防会館ニッショーホール（東京）

近年の芦北町消防団の主な受賞歴

- | | |
|---------|--|
| 昭和 61 年 | 日本消防協会表彰旗が授与される。（旧芦北町） |
| 平成 4 年 | 同表彰旗が授与される。（旧田浦町） |
| 平成 12 年 | 県消防ポンプ操法大会で初優勝。（旧田浦町） |
| 平成 14 年 | 同大会で連覇、全国大会初出場。（旧田浦町） |
| 平成 16 年 | 同大会で前人未到の 3 連覇達成。（旧田浦町）
3 連覇の偉業に対し県知事が表彰（旧田浦町）
消防庁長官特別表彰（旧田浦町） |
| 平成 17 年 | 旧芦北町と旧田浦町が合併し消防団も統合。 |
| 平成 18 年 | 県消防ポンプ操法大会準優勝。 |
| 平成 20 年 | 同大会で合併後初優勝。 |
| 平成 26 年 | 同大会優勝、全国大会で優良賞（10 位入賞）。 |

芦北町消防団

消防団最高の栄誉

「まとい」を受章

（財）日本消防協会特別表彰



CONTENTS

- 2 消防団最高の栄誉「まとい」受章
- 4 速報 町民体育祭陸上競技大会
- 5 戦没者追悼式
- 6 佐敷城跡観月会
- 8 金婚夫婦表彰式
- 9 郷土誌「野坂の浦」倉永新編集長
- 10 大岩拠点に活動 山中先生メッセージ
- 11 うたせ船で水俣病を学ぶ講座
- 12 地震訓練 / 警察署 / 消防署
- 13 イベントカレンダー
- 14 保健センターだより
- 15 文化祭・文化講演会
- 16 ジェシカの芦北 DIARY / 祝 100 歳
- 17 芦北に残る文化遺産
- 18 お知らせ
- 20 まちのわだい
- 22 芦北町特産品 PR
/ 水俣病犠牲者慰霊式 / 図書
- 23 町民講座作品 / 出生 / おくやみ
- 24 観光うたせ船祭
/ ローラーリ्यूージュ大会
/ 星野富弘美術館だより

今月の表紙「里山にそよぐ秋の風」
芦北町の里山も実りの季節を迎え、黄金色に輝く棚田にさわやかな秋の風が吹き抜けていました。

人口のうごき (H28.10.1 現在) () 内は前月比

人 口	18,187人	(-27)
男	8,560人	(-15)
女	9,627人	(-12)
65歳以上	7,287人	(+1)
世帯数	7,416世帯	(-9)

速報

町民体育祭

陸上競技大会 佐敷西体協が2年連続優勝
全種目の総合3連覇達成

平成28年度町民体育祭陸上競技大会が10月10日、地域間交流スポーツグラウンドで開催され、佐敷西体協が2年連続2回目の優勝を果たしました。5月のグラウンド・ゴルフ大会を皮切りに行われた、町民体育祭全13種目(ゴルフは中止)の総合成績でも佐敷西体協が総合優勝を勝ち取り、総合3連覇を達成しました。

陸上競技大会

順位	地域体協	得点
優勝	佐敷西	275.5
準優勝	泉南	269.5
3位	湯島	250.5
4位	田浦南部	238.5
5位	佐敷東	234.0
6位	田浦北部	216.0
7位	大東	205.0

◆入場行進優秀賞 田浦北部

総合順位 (最終)

順位	地域体協	総合成績
総合優勝	佐敷西	82
準優勝	泉南	77
3位	大東	61
4位	佐敷東	61
5位	湯島	58
6位	田浦南部	51
7位	田浦北部	50

※同点の場合は優勝種目の多い体協が上位になります。



芦北町戦没者追悼式

平和と繁栄の誓い新たに



式辞を述べる竹崎町長

献詠歌をささげる吟道八河流光陽会



献花を行う遺族の皆さん

遺族会代表の若山誠一さん



パフォーマンスで観客を沸かせる西部方面音楽隊



演奏に合わせて歌う園児



芦北町戦没者追悼式が9月29日、しるやますカイドームで行なわれ遺族や来賓など約500人が参加し、先の大戦などで犠牲となった1251柱の戦没者の英霊を悼みました。竹崎町長は式辞で「戦争の教訓を次の世代に語り継ぎ、平和と繁栄に貢献していきたい」と述べました。遺族会代表の若山誠一さんは「終戦から71年の歳月は流れても、この日を迎えるたびに悲惨な過去が蘇える」と追悼の言葉をささげました。

午後からは陸上自衛隊西部方面音楽隊による「復興への願いコンサート」が開かれました。自衛隊の行進曲メドレーや葦北鉄砲隊の歌などが披露され、約600人の来場者が重厚な音楽を楽しみました。町内の保育園児がとなりのトトロの「さんぽ」を音楽隊の演奏に合わせて歌うと会場から大きな拍手が送られました。アンコールでは東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を会場が一体となって歌い、締めくくりました。

追悼一狩野^{しゅうほう}琇鵬先生を偲ぶ

能楽の公演を始めた第2回佐敷城観月会より能公演にご尽力いただきました喜秀会の狩野琇鵬先生が、今年の7月24日に永眠されました。能公演のみならず、能体験教室など、本町の芸術文化活動に多大なるご協力を賜りました。

ご冥福をお祈り申し上げます。



中学生 能体験教室

観月会に先立ち湯浦中学校で能教室があり、喜多流喜秀会による能の解説や仕舞の実演、生徒代表による能面や能装束の着用体験などが行われました。

喜秀会の狩野了一先生が「能は世界無形文化遺産にも登録されている世界最古とも言われる古典芸能です。簡素な舞台の上で舞、謡、囃子だけで構成されているので想像力を働かせて見てください」と生徒たちに解説しました。

その後生徒たちは般若や鬼神、女面などの能面を実際に着用し、能の動きを体験しました。能面と能装束を着用した1年生の稲葉真菜さんは「(衣装は)重いし、暑い。能面の目の穴が小さく足下がよく見えないので演者はすごいと思う」と話していました。



能楽ワンポイント

能と狂言は、もともと「猿楽」や「田楽」といった民衆芸能をルーツに持ち、室町時代に現在の形になりました。能と狂言を合わせて「能楽」と呼びます。

能と狂言の違いは、構成や演目の内容、衣装や所作(しぐさ)などいくつかあります。

能は謡と演奏に合わせて優雅に舞われる歌劇(ミュージカル)で、悲劇や幻想的な内容の演目が多く、主人公(シテ)は豪華な衣装と面をつけます。

一方、狂言はセリフの応酬や大げさなしぐさで笑いを取る喜劇で、登場人物は素顔で衣装も庶民的です。

この違いを理解したうえで鑑賞すると、新たな魅力に気付かれることでしょう。



狂言「咲嘩」



写真左から寺本町議会議長、古荘芦北警察署長、藤井選手



写真左から堤社長、島田芦北地域振興局長、山本県議会議員

佐敷城跡観月会が9月16日、しろやまスカイドームで行われました。
狂言みのる会による狂言「咲嘩」、喜多流喜秀会による能「葵上」が公演され、町内外から訪れた観客約300人が幽玄の世界に酔いしれました。
公演前の火入れ式ではロンドン五輪銀メダリストの藤井瑞希選手と焼酎「葎分」を製造する織月酒造の堤純子社長が女性として初めて火入れ役を務めました。

第十九回 佐敷城跡観月会



倉永淳一さん (67)
(田浦4)



発刊継続決定の文字が表記された
野坂の浦 63号 (9月10日発行)

郷土誌「野坂の浦」 新編集長に倉永淳一さん

35年間にわたり町の郷土史や文芸などを掲載してきた郷土誌「野坂の浦」。前編集長の引退により今年3月には休刊の予告がでていましたが、新編集長が決まり、発刊継続が決定しました。

編集長に就任した倉永淳一さんに話を聞きました。

倉永さんは昨年4月、町文化財保護審議会委員に就任。「野坂の浦」前編集長の西忠温さんとともに文化財の指定や保存活用に関わってきました。この縁がきっかけとなり西さんから編集長を要請されました。

倉永さんは「まさか郷土誌に関わるとは思っていなかった」と要請に驚きを隠しません。しかし町職員時代に広報紙の編集に携わった経験もあり「できる限りのことはやっていきたい」と快諾。来年春に発行予定の第64号から倉永さんが編集を手がけます。

野坂の浦は町民有志により昭和56年に創刊され、以来35年間で63

号を発刊。郷土の歴史や文化を次世代に伝える郷土誌として引き継がれてきました。

前編集長の西さんは倉永さんの就任に「継続が大事だと思っていたので嬉しい。新しい視点を編集に取り入れてほしい」とエールを送ります。

現在、「薩摩街道なうら案内人の会」の事務局長として、地域の歴史文化を巡る町案内や地域に伝わる民話を調査し出版する活動などに力を注いでいる倉永さん。野坂の浦の編集を通じて「民話や伝承の中から町の歴史をひもといていきたい」と意欲を燃やしています。

金婚夫婦表彰式～共に歩み50年～

町社会教育センターで9月13日、第58回熊日金婚夫婦表彰式が行われました。今年金婚を迎えたのは昭和41年に結婚した町内68組のご夫婦です。

式では主催者の熊本日新聞社の池下敬一郎事業局長が金婚夫婦を代表して迫脇親春・弘子夫妻(道川内西)に表彰状を手渡し、「半世紀の道のりは平坦ではなかったと思います。手を携え歩んでこられたことは正に金に値する50年です」とお祝いの言葉を述べました。

来賓として出席した竹崎町長が祝辞とともに、50年

前のヒット曲を口ずさむと会場は和やかな雰囲気になりました。その後、町社会福祉協議会から各地区の代表に記念品が贈られました。

最後に松下征支・廣美夫妻(道川内西)が「金婚を迎えられた皆さまと同じく、私たちも支え合いこれまで過ごしてきました。次はダイヤモンド婚を目指します。本日はありがとうございます」と金婚夫婦を代表して感謝の言葉を述べました。



謝辞を述べる松下夫妻



金婚を迎えられた皆さん



表彰状を受け取る迫脇夫妻

《吉尾地区》
金口 正壽 千代子
河口 圖南雄 洋子
坂口 忠明 チエ子
徳嶋 寛 ハツ子

芳邑 正孝 ヤチヨ
山本 信吾 タツ子
元村 美則 キミ子
光永 庸夫 キヨ子
松下 征支 廣美
平山 國治 ハツノ
橋本 一男 フジエ
橋口 彰三 しのぶ
谷口 廣幸 アヤ子
立坂 昭則 和子
迫脇 親春 弘子
坂本 敏雄 幸枝
清田 忠雄 晴美
内園 藤夫 恵美子
出野 逸男 ミツエ
石田 浩一 澄子
石崎 昇 フジ子
池田 實 カツ子

《佐敷地区》
金婚を迎えられたご夫婦を紹介いたします(敬称略)。なお表彰式を欠席されたご夫婦のお名前も掲載しています。

《湯浦地区》
湯川 俊彦 寅雄
宮脇 節男
宮嶋 良三
松崎 馨 鈴子
平山 利治 民子
橋本 巖 和枝
西原 次雄 順子
戸田 博幸 セツ子
田中 弘綱 トミ子
斉田 親義 美津子
釜 立身 清己
釜 隆春 由紀子
池田 虎行 スヅ子
稲光 成夫 チサ子
湯治 寅雄 レイ子

《大野地区》
桑見 武盛 幸恵
塩竹 親 明子
遠原 二義 久美子
長木 清一 貴美子
野田 安美 ムツ子
平井 時義 ナツエ
宮川 宣昭 榮子
宮崎 太 清子
戴守義 美代子

《田浦地区》
岩田 弘 千代子
浦 幸義 美恵子
浦田 新一 ヤス子
上門 喜美男 妙子
倉本 恵 雅江
迫本 修一 美津代
嶋浦 義隆 末子
園田 勝義 壽美
田中 照 キヨコ
田中 道雄 マサ子
鶴川 三男 裕子
野山 敏 キヨミ
橋本 素 厚子
橋本 廣満 智恵子
檜前 嵩 カヨ
平松 七雄 啓子
松永 榮次 カヨ子
峯 哲郎 良子
村田 一義 喜代子
山崎 親晴 ヨシ子
山下 澄雄 静枝
山下 昇 ヨシノ



祝国体出場

第71回国民体育大会
希望郷いわて国体
期間…10月1日～11日

▼相撲

松岡 友希 (芦北高校2年)

▼空手道

飯村 史毅哉 (綱田牧場)

田村 嵐 (近畿大学)

釜 拓治 (芦北高校3年)

▼ゴルフ

間柄 両真 (秀岳館高校2年)

▼ボクシング

岡田 尚大 (九州学院高校3年)

▼陸上

山下 遼 (徳山大学)

井川 龍人 (九州学院高校1年)

▼グラウンド・ゴルフ

本山 洋子 (芦北町G・G協会)

第16回全国障害者スポーツ大会
希望郷いわて大会
期間…10月22日～24日

▼障害者陸上

前田 恵一 (芦北町身障連)

▼障害者フライングディスク

山下 平四郎 (芦北町身障連)

※敬称略()は所属

大岩地区を拠点に地域と共に歩んだ15年

芦北町での活動を終え
郷里の大阪へ

15年にわたり大岩地区を拠点に地域づくりの研究を続けられてきた山中進先生が退職され、芦北町での活動から離任されました。山中先生からのメッセージを掲載します。

熊本大学名誉教授

山中進先生



人生のほぼ半分を過ごした熊本を離れ、9月7日に郷里の大阪に帰ってきました。熊本での生活は35年にもなりましたが、中でも芦北町をフィールドにじっくりと腰を据えた研究ができたことは大変幸せなことでした。

私と芦北町との出会いは平成14年度に熊本大学の上野眞也先生と共同で実施した「水俣芦北地域総合政策研究」でした。上原・大岩・吉尾の3集落を対象に山間の小さな集落を何とか元気にしなければと取り組んだ3年間の研究でした。区長さん宅を訪ね、村の人たちからの聞き取りや土地利用調査など新鮮な気持ちで取り組みました。

平成18年10月には町の計らいで旧大岩小学校に「芦北町・熊本大学中山間地域総合政策研究推進室」が設置され、ここに私の蔵書を寄贈しました。また、11月には中山間地域政策研究と銘打ったフォーラムを開催しました。最後のディスカッションでは竹崎町長にも参加いただき、熱のこもった議論が展開されました。大岩地区のみなさんの盛り上がりも

大変なものでした。

さらにこの年の12月には芦北町と熊本大学との間で、中山間地域の研究を連携して推進するための協定を結んでいます。芦北町のこの取り組みは当時としてはまさに時代を先取りしたものでした。

私は「地域づくりとは住民が意識を高めていくこと」と思っています。大岩地区では平成19年に町の支援を受けて村づくり協議会を立ち上げました。これにより私たちのお付き合いも町から協議会へと軸足を移していくことになりました。私は早速、熊本市秋津の子育て支援グループのお母さん方との交流を持ちかけ、互いに秋津の夏祭りや大岩の秋祭りの機会をとらえて交流を始めました。物産展や紙すき、稲刈り体験など互いに無理をせず、できる範囲の中で息の長い付き合いを続けています。

平成20年の研究では、私は「小さな産業づくりとそれらを担う人材の発掘・育成」を提案しました。上原地区のそばの産地化、それと伝統的な大河内紙の復活は小さな産業づくりの動きとしてとても興味深いもの

でした。特に上原での焼畑体験は忘れることのできない貴重な思い出となっています。

私にとって芦北町の山間地は日本の中山間地域が抱えるさまざまな問題を考える格好のフィールドでした。そのため大岩地区にどっぷりとつかり、いつの間にか足掛け15年のお付き合いになりました。

ただ気がかりなのはこの地区も着実に高齢化の歩みが速まり地域の力が弱ってきたことです。この先を考えると何もせずに集落が荒れていくのを傍観している訳にはいきません。農業や家を継ぐ者がいなくなっていく中で大岩米づくりに意欲を燃やす人もいます。これからは一人一人が互いに気遣いあい、信頼しあい、支え合いながら、しっかりと自分たちの暮らしを築いてもらうことを願っています。

10月30日は大岩地区の秋祭りです。毎年舞台の上で手拍子をもらいながら気持ち良く唄った「チャンチキおけさ」、今年は残念ながら唄えませんでした。秋の豊かな実りと祭りの盛会を心から願っております。

うたせ船で水俣病を学ぶ

参加者を乗せ漁を行ううたせ船

うたせ船で水俣病を学ぶ講座が9月24日に行われ、約90人の参加者が宮本勝彬前水俣市長の講話やうたせ船の船上で水俣病について学びました。

女島活力推進センターゆめもやいであった講演会では、はじめに町内の中学生3人が水俣病について学んだことを発表。田浦中3年の中田潤くんは「経済優先、利益追求により公害が起こったことに恐ろしさを感じる」と話しました。

宮本前市長は「誠実に生きる」と題して講演。教師時代のエピソードを交えながら市長なつてから直面した課題、水俣病との関わりなどについて触れ「物事は損得ではなく、うそか誠かで判断することが大事」と人間としての生き方を語りました。

講話後、参加者は計石漁港でうたせ船に乗船。水俣沖まで移動し、かつて工場排水で汚染された沿岸を見ながら、うたせ船の船頭さんから当時の様子などを聞きました。

当日は天候に恵まれ、参加者はうたせ漁を体験することができ、うたせ船名物の船上料理に舌つづみを打ちました。

合志市から参加した中野志乃さんは「子ども2人と環境について学びながら楽しむことができた」と話し、県内で研修中の日系ブラジル人前田カマルゴ・フエリペさんは「生のエビを初めて食べて美味しかった。このきれいな海で昔公害があったなんて」と信じられない様子でした。



環境省関係者もうたせ船に乗船



田浦中3年中田潤くん



湯浦中2年久保遥さん



佐敷中2年宮下結衣さん



講演する宮本勝彬 前水俣市長



船上料理を満喫

日	月	火	水	木	金	土
芦北町イベントカレンダー 10月20日～11月19日 ※日程は変更になることがあります □内は関連ページ				10/20 デコボンキッズ (保健センター)	21 3歳児健診 (保健センター)	22
23 魚の朝市 23周年 (芦北町漁協) 星野富弘美術館 開館 10 周年記念講 演会・コンサート 国際交流まつり (道の駅芦北でこぼん)	24 行政相談 (芦北町役場)	25 行政相談 (地域活性化センター)	26	27 デコボンキッズ (保健センター)	28 3～4カ月児健診 (保健センター)	29 芦北町文化祭 (しろやまスカイ ドーム) P15 水俣病犠牲者慰霊式 (エコパーク水俣) P23
30 芦北町文化祭 (しろやまスカイ ドーム) P15	31 離乳食教室 (保健センター)	11/1	2	3 文化講演会 (しろやまスカイ ドーム) P15	4	5
6	7	8	9	10 デコボンキッズ (保健センター)	11 3歳児健診 (保健センター)	12 芦北観光うたせ船祭 (芦北町漁協前広場) P24
13 新米パバママ教室 (保健センター)	14 7～8カ月児健診 (保健センター)	15	16	17 デコボンキッズ (保健センター)	18 1歳6カ月児健診 (保健センター)	19

図書館休館日 【社教センター】 11 月 3 日 (木・祝)、6 日 (日)、23 日 (水・祝)
【田浦図書室】 10 月 24 日 (月)、11 月 14 日 (月)、28 日 (月)

田浦子育て支援センター 行事予定 (11 月)

11月2日(水)秋の遠足(エコパーク水俣)
11日(金)リサイクルバザー
15日(火)絵本の読み聞かせ
21日(月)～29日(火)お楽しみ会の練習
30日(水)身体測定、お誕生会(11・12月生)



※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。
一時保育も行っています。
子育て仲間づくりや情報交換にお気軽にご利用ください。
▶センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午 午後2時45分～5時15分
*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎(87)0034

児童館からのお知らせ(11月の行事)

《芦北児童館》 パターゴルフ＆輪投げ大会
とき 11月13日(日) 午後1時30分～
対象 小・中学生
《湯浦児童館》 児童館deアート/チョークアート
とき 11月23日(水・祝) 午後1時～3時
対象 幼児～大人 ※要予約11月10日まで
※児童館は児童に健全な遊び場、機会を提供し、心身ともに豊かな発達ができるように支援する施設です。
▶利用時間 午前10時～午後6時(月曜日休館)
*問い合わせ先
芦北児童館 ☎(82)3036
湯浦児童館 ☎(86)0074

地震の防災訓練(熊本シェイクアウト訓練)を実施します

災害対応の基本となる自助の強化を図るため、県民総参加の地震対応訓練「地震シェイクアウト訓練」が行われます。
地震災害から自分の身を守るための初動対応を身につけるためのもので、3つの安全行動をその場で行うだけです。

◆3つの安全行動とは
①まず低く(低い体勢をとる)
②頭を守り(机・テーブルの下に隠れるなど)
③動かない(揺れが収まるまで)
▶実施日時 11月4日(金)
午前10時ごろ(1分程度)
※防災行政無線の訓練放送があります。

*問い合わせ先 総務課防災交通係 ☎(82)2511(内線218)

事件・事故は110番

芦北警察署

☎(82)3110

架空請求詐欺にご注意ください!

■**架空請求詐欺とは**
利用していない有料サイトなどの利用代金や登録解除の名目などで現金をだまし取る振り込み詐欺です。
《最近の手口(例)》
「重要なお知らせ」
お客様が以前で登録されました会員制有料サイトにつき料金未納の件でサイト運営会社より連絡がありました。
このまま放置されますとお客様の債務不履行として民事訴訟による強制回収を行います。つきましては、早急に〇〇番までご連絡ください。

このようなメールが携帯電話などに届き、連絡を入れるとことば巧みに現金をだまし取る。

被害に遭わないために

・利用した覚えがなければ支払う必要はない。
・相手に連絡しない。また、自分の氏名や住所を教えない。

不審なメールが届いたら、ご相談ください!

○芦北警察署
☎(82)3110
○振り込み詐欺相談ホットライン
☎096(381)2567

消防本部職員採用試験【二次募集】

日 時	12月4日(日) 午前8時30分から
場 所	水俣芦北広域行政事務組合消防本部
職 種	消 防
採用予定数	3人程度
受験資格	平成4年4月2日～ 平成11年4月1日までに生まれた人
試験内容	①教養試験(高校卒業程度) ②適性(消防適性検査(A))

■申込書は次のいずれかの方法で請求
①消防本部で請求
②郵送での請求は、封筒の表に「消防本部採用試験申込書請求」と朱書きし、140円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角2)を同封して請求
③ホームページからダウンロード
<http://www.mafd119.com>
■受付期間 11月1日(火)～16日(水)
(当日消印有効) ※持参時は土日除く

*申込・問い合わせ先
〒867-0003
水俣市ひばりヶ丘3番12号
水俣芦北広域行政事務組合消防本部総務課
☎(63)1191

火事と救急は119番

芦北消防署

☎(82)4731

10/29^土30^日

開館時間 9:00 ~ 19:00
(※ 30日は15:00まで)

会場 しろやまスカイドーム

書道、写真、絵画、短歌
などの作品は期間中終日
展示されています。

芦北町

文化祭

Program

10月29日(土)

オープニングセレモニー 9:00 ~

- ・田浦祝い唄保存会「祝いめでた」
- ・芦北町吹奏楽団

文化協会発表会 10:00 ~

【ゲスト】日本相撲甚句会

10月30日(日)

郷土芸能発表会 10:00 ~

- ・葦北鉄砲隊
- ・子ども英会話教室発表
- ・田浦海龍太鼓
- ・子ども舞踊発表
- ・田浦古代俵踊り

【ゲスト】高畑年祢神社田植え踊り保存会

子ども茶道教室 10:00 ~ 12:00

町民・自主講座茶道 12:00 ~ 15:00

文化講演会



脳科学者

茂木健一郎氏

脳と人間

混迷の時代を生きるヒント

日時 11月3日(木)文化の日

開場 / 13:00 開演 / 13:30

会場 しろやまスカイドーム

プロフィール

茂木健一郎(もぎけんいちろう)脳科学者。1962年10月20日東京生まれ。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現在に至る。専門は脳科学、認知科学。「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の関係を研究するとともに、文芸評論、美術評論にも取り組んでいる。2005年、『脳と仮想』で、第四回小林秀雄賞を受賞。2009年、『今、ここからすべての場所へ』で第12回桑原武夫学芸賞を受賞。2006年1月より、2010年3月まで、NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』キャスター。



「私達の健康は、私達の手で」を合言葉に、芦北町では現在35人の食改さんが、子どもから高齢者まで、食生活を通じて地域の健康づくり活動を進めています。今回は活動の一部をご紹介します。

「食生活改善推進員」です

みなさんは、食生活改善推進員をご存じですか？「食改さん」という名で呼ばれ、食生活を通じた健康づくりのボランティアとして活動しています。

保健センターだより

*問い合わせ先 保健センター ☎(86)0200

食育の推進

子どもの頃からより良い食生活の確立に向け、食育を通して5つの力を育むため親子の食育教室や、育児サークルでクッキングなどを開催しています。



食育で身に付けたい5つの力

- ①望ましい食を選択する力
- ②食材の味が分かる力
- ③料理する力
- ④食に感謝する心
- ⑤元気な体の調子が分かる力

食生活改善推進員になるためには、養成講座の受講が必要です。今年度は12月から開講します。養成講座で食を通じた健康づくりを学び、そこで得た知識を、まずは自分自身の健康づくりに、そして家族、友人、近所の人へつなぎ、健康づくりの輪を一緒に広げていきませんか！
詳しい食改さんの活動や今年度の養成講座については、保健センターまでお気軽にお問合せください。

食生活改善推進員会 竹浦幸子会長の話

食生活改善推進員の活動は、食の知識も増え、料理も学べて、仲間もでき、子ども達とも触れあい、そして自分自身の健康づくりができる活動です。
みんなで楽しみながら健康食を作っています。

あなたも食生活改善推進員に！

生活習慣病予防活動



減塩をすすめるためご近所を訪問し、味噌汁の塩分測定をおこない、薄味で具だくさんの味噌汁を勧めています。また、生活習慣病予防の料理を紹介しています。



最後にもう一度深呼吸して、呼吸を整える

口から息を吐きながら、両手を体の横に下ろす



鼻から息を吸いながら、両手を下から斜め上へ高く上げる

足は肩幅に開いて立ちます。胸を大きく開き、深呼吸します。

『出逢い』 ⑬ 深呼吸

連載 あしきた健康体操 ワンポイントレッスン

※今回で「出逢い」のレッスンは終わりです。

芦北に残る文化遺産

【概要】

佐敷城は、今から400年以上前の16世紀後半に薩摩国の島津氏や、人吉の相良氏から葦北郡を守るために、加藤清正によって築城された、と考えられます。

城跡は城山（しろやま）と国一城令で廃城となり、建物や石垣は壊されますが、さらに寛永15年（1638）に天草・島原の乱が終結した後、再度壊されています。

平成5年からの発掘調査では、石垣の積み方や石材の違

特徴、見どころなどを数回にわたって紹介しますが、まずは佐敷城跡の概要について説明します。

今回から佐敷城跡の歴史や

呼ばれる丘陵と山裾一帯に立地しており、山上には総石垣づくりの本丸や二ノ丸などの曲輪（くるわ）が築かれ、山裾（今の社会教育センター帯）には石垣や堀が巡っていました。城山の東側には、薩摩街道に沿って城下町が建設され、佐敷川を外堀にして防備を固めていました。

築城されたのは天正16年（1588）頃と考えられ、豊臣秀吉が朝鮮に出兵していた文禄元年（1592）には、島津軍にお城が乗っ取られる「梅北の乱」が発生したほか、関ヶ原の戦いが行われた慶長5年（1600）には東軍に属した加藤清正に敵対する西軍の島津・相良軍の攻撃を受けています。

元和元年（1615）の一

⑥4 佐敷城跡

国指定史跡 平成20年3月28日指定



佐敷城跡の石垣
（手前が築城時の古い石垣）

*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎（87）1171

次回、佐敷城跡の歴史を深く掘り下げてご紹介します。

佐敷城跡は、芦北水俣地区で唯一、国指定文化財（史跡）に指定されている貴重な文化財です。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。

佐敷城跡については、お城の雑誌や専門書など多くの書籍で取り上げられ、個人やバスツアーで全国各地から見学に来られるなど、お城好きの間ではとても有名なお城で、芸能界きつてのお城好きといわれる落語家の春風亭昇太師匠も、いつかは佐敷城跡に行ってみたい、とインタビュで語っています。



江口のふゆの 芦北Diary

水仙と桜の橋 Vol.2



10月になって、やっと秋が来ました。祭りは四季を通じて行われるものですが、私は夏祭りがとりわけ大好きです。留学生の頃、明石の国際交流会で盆踊り体験をして以来、ずっと夏祭りで踊りたかったんです。当時、お盆の前に帰国してしまったので、芦北の夏祭りに間に合ってすごく嬉しかったです！

しかし、ちょっとしたジレンマに陥りました。職員の皆さんと揃いの法被を着るのか、それとも浴衣を着るのか、とても迷いました。「じゃあ、浴衣の上に法被を着ればどう？」と言われ、それにしようと決めました。いいアイデアでしたが、やはり8月

は夜でも暑いものです。2曲を合計10回踊りました。途中で法被を脱いで最後まで踊り続けました。

当日は2つの踊りを一回ずつしか練習せず、すぐ会場に行きました。一番の驚きは、踊りの終わり頃に舞台に引き上げられたことでした。「いや、いや、今日習ったばかりです



ニック（中央）と英会話講座の江口龍文先生



後でALTのニックから、「あー、なんか懐かしいね。新しく町に来たALTはいつも舞台に引き上げられるよ」と言われました。早く言ってくれたらよかったのに…

とはいうものの、このサプライズは海外の人が芦北町に早くなじむために必要なこととも言えるでしょう。もし来年新しいALTが来たら、私もサプライズをプレゼントしようかな。来年の夏祭りもお楽しみに！

とはいうものの、このサプライズは海外の人が芦北町に早くなじむために必要なこととも言えるでしょう。もし来年新しいALTが来たら、私もサプライズをプレゼントしようかな。来年の夏祭りもお楽しみに！



藤井モモヨさん
（平生）

9月5日、藤井モモヨさんが100歳の誕生日を迎え、町から長寿祝金が贈られました。藤井さんは自分の健康のためにと毎日30分程度の散歩が日課になっています。2年前に転倒し骨折する大ケガに見舞われましたが一人で歩けるまでに回復。お医者さんも驚かれたそうです。昔から手仕事が好きで今でも自分で針の穴に糸を通して裁縫することも。相撲を見るのが好きで応援する力士に「もちっとがんばらんば」と辛口なエールを送っていました。



坂熊マツヲさん
（塩浸）

9月15日、坂熊マツヲさんが100歳の誕生日を迎え、町から長寿祝金が贈られました。坂熊さんは、現在、短期滞在型の施設で過ごされていますが、数年前まで家の草取りをするなど、いつも小まめに身体を動かしていたそうです。お祝いの花束を受け取ると「ありがとうございます。こがん長生きしてあきれたもん」と答えていました。ご家族は「普段から穏やかで、若い頃からとても我慢強い性格でした。これからも健康でいてほしい」と話していました。

祝100歳おめでとうございます

● 芦高祭(芦北高校文化祭)

芦北高校に元サッカー日本代表、ロアッソ熊本の巻誠一郎氏がやってくる！

▶会場 芦北高校

▶日時・内容

◆11月18日（金）午後2時～
（講演会）「夢を掴むために」
講師 巻誠一郎氏（ロアッソ熊本）

◆11月19日（土）午前9時30分～午後2時
食品バザー、生産物販売、各種展示、有志ステージ発表

*問い合わせ先
芦北高校 ☎（82）2034

● 水俣高校文化祭

【全日制文化祭】

▶日時 10月23日（日）

午前9時～午後3時

▶場所 全日制教室・体育館

▶内容 取組発表・文化系部活動
ステージ発表・展示・販売実習
・食品バザーなど

【定時制文化祭】

▶日時 11月2日（水）

午後6時～7時30分予定

▶場所 定時制教室・多目的室

▶内容 活動紹介・展示・販売実習・食品バザーなど

*問い合わせ先
水俣高校 ☎（63）1285



高校文化祭

催し

熊本矯正展のお知らせ

社会を明るくする運動の一環として矯正展を開催します。入場は無料です。

- ▶日時 11月12日(土) 午前9時～午後4時
11月13日(日) 午前9時～午後3時
- ▶場所 熊本刑務所構内(熊本市中央区渡鹿)
- ▶主な内容
刑務所内見学、矯正広報パネル展示
性格検査、全国の刑務所作業製品の販売
バザー、アトラクションなど

*問い合わせ先

熊本刑務所 処遇部企画部門
☎096(362)3513

熊本県環境センター 11月のイベント

【自然散策&創作アート in あしきた】

1日目は芦北海岸の植物観察、野外調理など。
2日目はどんぐりやまつぼっくりなどを使った
アートや遊びで芦北の秋を満喫。

- ▶日時 11月12日(土) 午後1時～
13日(日) 午前11時30分
- ▶場所 あしきた青少年の家
- ▶定員 30人程度(申込多数の場合抽選)
- ▶費用 未定
- ▶申込期限 10月30日(日) 午後5時必着
- ▶申込方法 氏名、年齢、食物アレルギーの有無、代表者の住所、電話番号を明記してハガキ、FAX、Eメールで申込

【サラダたまねぎ植え付け体験】

- ▶日時 11月19日(土) 午前10時～正午
- ▶場所 熊本県環境センター(水俣市)
- ▶定員 26組(申込多数の場合抽選)
- ▶参加費 1組1,000円
- ▶申込期限 11月6日(日) 午後5時必着
- ▶申込方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記してハガキ、FAX、メールで申込

*申込・問い合わせ先

熊本県環境センター
☎(62)2000 FAX(62)1212
Eメール:center@kumamoto-eco.jp

助成

地域づくり活動などを応援します
水俣・芦北地域振興財団助成事業

■地域振興事業

地域の特産品を活用した新製品の開発や町を元気にするイベントなどに助成されます。

対象者	町内で活動する団体
対象となる事業	・地場特産品などを活用した新製品の開発 ・物産・観光フェア、人材育成、地域間交流 など
申込期限	12月9日(金)

★平成28年度は5団体が取組を実施中

実施団体	取組内容
過疎地域復興団体 reed	音楽イベントや物産展
NPO法人 赤松館保存会	赤松館の建物に関する解説書の作成と見学会の開催
NPO法人 ばらん家	耕作放棄地を活用した米の自然栽培と米や黒砂糖の商品開発を実施
薩摩街道 ななうら案内人の会	薩摩街道の再現、保存や街道沿線に残る民話・伝説の製本化
自然処	食をテーマとした商品開発・イベント・学習会の開催

■環境技術研究開発事業

環境配慮型の研究開発に関する事業などに助成されます。

対象者	水俣市・葦北郡において事業を行う法人 上記法人と連携して事業を行う大学など
対象となる事業	・環境配慮型の先端技術の研究開発事業 ・環境配慮型の研究開発を促進する事業
説明会	10月28日(金) 午後2時～ 芦北地域振興局3階大会議室 ※26日(水)までに参加申込必要
申込期限	12月16日(金)

◆申請書提出先

企画財政課 まちづくり推進係
☎(82)2511 (内線252)

*問い合わせ先

水俣・芦北地域振興財団事務局(県環境政策課内)
☎096(283)8881

土地

一定面積以上の土地取引は届出が必要です

一定面積以上の土地を売買などしたときは、契約後に権利取得者(買主)が届出をする必要があります。

- ◆届出の必要な取引
売買、交換、売買予約、譲渡担保、代物弁済等
- ◆届出の必要な土地の面積
都市計画区域 5,000㎡以上
都市計画区域外 10,000㎡以上
- ◆届出期限 契約(予約を含む。)締結日から
2週間以内(締結日を含みます。)
- ◆届出窓口 企画財政課

*届出・問い合わせ先

企画財政課 政策推進室
☎(82)2511 (内線253)

再就職をお考えの方へ
パソコン講座受講生、訓練生募集

◎再就職のためのパソコン講座

パソコンの操作などの理由で再就職の壁を感じている方のために「再就職応援パソコン講座」を実施します。

- ◆日時 11月7日(月)～11日(金)
午前10時～午後4時
- ◆場 所 (有)システムランド水俣校
(水俣市公民館)
- ◆定 員 20人 ※申込多数の場合は抽選
- ◆受講料 無料
- ◆対象者 水俣・芦北地域に在住の人
- ◆内容 Word、Excel、PowerPointの基礎
- ◆申込期限 10月31日(月)

*申込・問い合わせ先

水俣・芦北地域雇用創造協議会
☎(82)5572

成人式

平成29年成人式のお知らせ

- ▶期日 平成29年1月8日(日)
- ▶時間 午後1時30分～ 受付
午後2時～ アトラクション
午後2時30分～ 式典
- ▶場所 しろやまスカイドーム
- ▶対象者 平成8年4月2日～
平成9年4月1日生まれ
※案内状は11月上旬に送付します。

*問い合わせ先

町社会教育センター
☎(82)2213



成人式実行委員の皆さん▶

◎公共職業訓練《パソコン事務実践科》

- ◆訓練期間 平成29年1月6日(金)
～3月31日(金)
- ◆訓練時間 午前9時～午後4時
- ◆訓練場所 (有)システムランド水俣校
(水俣市公民館)
- ◆定 員 20人(応募少数時は中止の場合あり)
- ◆受講料 無料(テキスト代12,000円程度必要)
※資格取得のための受験料は各自負担
- ◆内 容 業務で必要なパソコンでの文書や帳票の作成、集計や分析、マクロの実務スキルの習得
- ◆募集期間 10月28日(金)～11月30日(水)
- ◆取得可能資格 ワープロ技士2級・3級、
表計算技士2級・3級、
ExcelVBA ベーシック

*申込・問い合わせ先

ハローワーク水俣
☎(62)8609

11月9日～15日
秋季全国火災予防運動が実施されます。

全国統一防火標語

消しましょう
その火その時
その場所で



※9月13日の町民体育祭ゴルフ大会は台風接近により中止となりました。

- 【軟式野球】
- 開催日 8月7日(日)
- 場 所 地域間交流スポーツグラウンド
湯浦運動公園グラウンド
- ◆優勝 田浦南部
- 2位 佐敷西
- 3位 田浦北部
- 4位 泉南
- 5位 大東
- 6位 佐敷東
- 7位 湯島
- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
- 内は獲得総合得点

町民体育祭結果



はつらつとプレーする参加者。ナイスショット！

元気はつらつにホールインワン

9月24日、芦北町営岩崎グラウンドで第13回熊本県障がい者グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。競技を通してスポーツの楽しさを広めるとともに、親睦を深め、社会活動への参加促進を目的として開催しているもの。当初の開催場所は阿蘇を予定していましたが、地震の影響により芦北へ会場を移しての開催となりました。

晴天に恵まれ、県内各地から参加した約340人の選手は、「おいしい！」「もうちょっと」など声をかけあいながら、はつらつとプレーしていました。

そば打ち体験で交流

9月28日、きずなの里で精神障害者家族会の交流会が行われました。芦北・水俣地域の精神障害者や家族、ボランティアが参加し、そば打ち体験を通して交流しました。民生委員・児童委員の村中正和さん（田浦4）を講師に、「どの程度までこねるの？」「太く切りすぎちゃった」など談笑しながらそば打ちに取り組みました。

芦北町精神障害者家族会の松原久美子会長は「体験活動をしているときは障害のあるなしをあまり感じません。精神障害を知ってもらって、地域で支え合っていければ良いと思います」と話していました。



わきあいあいとそば打ち体験をする参加者



交通安全宣言を行う内野小児童

命を守る交通安全の誓い

秋の交通安全運動が9月21日から30日にかけて行われました。これに先立つ20日、芦北警察署で出発式があり、8月に熊本県代表として交通安全子ども自転車全国大会に出場した内野小児童5人が交通安全宣言を行いました。児童たちは「交通ルールを守ることが事故を減らし、人の命を守ることを学びました。私たちは模範となり交通安全に全力を挙げることを誓います」と宣言しました。

芦北警察署によると期間中に管内での人身事故は発生しなかったということです。

笑っている父親を増やすために

ワークライフバランス（仕事と生活の調和）のあり方を学ぶ講演が9月10日、古石みどりの里であり、NPO法人ファザーリングジャパン九州の吉村伊織氏と杉山拓人氏が講演しました。ともに3児の父親である2人は「よい父親ではなく笑っている父親を増やす」ことを目指して活動しており、優先順位をつけ、自分の中で大切なものを大切にすることなどを話しました。

この講演会は地域福祉の向上を目指す団体プラスワン（一川大輔代表）の主催で水俣芦北地域振興財団の助成を受けて実施されました。



父親であることを楽しむことをモットーに講演を行う吉村氏

ラテンジャズ奏者が音楽部指導

佐敷小で同小音楽部員12人と芦北町吹奏楽団所属の中学生2人が9月9日、ラテンジャズを演奏する音楽グループDon De Donのメンバー5人から楽器演奏の指導を受けました。日本屈指のサクソ奏者加塩人嗣さんは「管楽器は一日5分でもいいので毎日吹くことが大切」と子どもたちを励ました。クラリネットを始めて2年目という佐敷小5年の田中葉音さんは「もっと上手になるためにがんばりたい」と話しました。

Don De Donは毎年九州ライブツアーで芦北を訪れており9月10日に女島ゆめもやいでライブを行いました。



サクソ奏者の加塩さんに助言を受ける中学生

献血に協力し日赤から感謝状

熊本県建設業協会芦北支部青年部（中村安博会長）が多年にわたり献血に貢献したとして日本赤十字社から感謝状が贈られ、9月21日に芦北町役場で竹崎町長から同青年部に伝達されました。

同青年部は社会貢献活動の一貫として平成16年から献血バスによる献血に協力。毎回加盟事業所の従業員70～80人が献血しています。

中村会長は「業界の人数そのものが減っているので、今後は他の団体にも協力を呼びかけて献血者を確保したい」と話しました。



表彰された建設業協会芦北支部青年部の皆さんと竹崎町長

自らの地域は地域の人々で守る 田川、計石地区で防災訓練

田川区自主防災会が9月11日、田川公民館で防災訓練を実施。八代海南部を震源とする震度6弱の地震が発生したと想定し、班員を非常招集して状況把握と各班の任務の確認などを行いました。続々と公民館に駆けつけた約30人は班長などに参加を報告。実際に災害があった場合の動きを確認しました。

その後、芦北消防署による救命処置訓練があり、人形を使った心臓マッサージや人工呼吸、AEDの使用法などを学びました。



心肺蘇生法の訓練を行う田川区自主防災会のメンバー



リヤカーに要支援者を乗せ避難誘導する計石地区住民

計石地区では、10月2日、大丸団地で防災訓練を行い、芦北町で震度6弱の地震が発生したと想定し、要支援者の状況確認と避難誘導などを行いました。

この訓練には地元消防団員や自主防災会員、大丸団地住人など約100人が参加。地震発生を知らせるサイレンが鳴ると5班に分かれて要支援者の家をまわり、歩行が難しい要支援者にはリヤカーや車いすを用意し、一時避難場所に設定した駐車場まで搬送しました。

計石地区自主防災会の江島会長は「地域に防災意識が広がってきたと思う。今後も日頃からの備えをしていきたい」と話しました。

お誕生おめでとう

H28. 9. 1～9.30 受付分（敬称略）受付件数 5 件

氏 名	出生日	性別	保護者	区
才松 菜都芽	9. 1 3	女	元樹	天月
田中 駿太郎	9. 2 1	男	嘉彦	花岡西
前橋 奏大	9. 2 1	男	諒平	海浦 2
田中 柚芽	9. 2 2	女	祐輔	道川内西

※本町窓口届け出た人で、承認を得た人を掲載しています。
町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

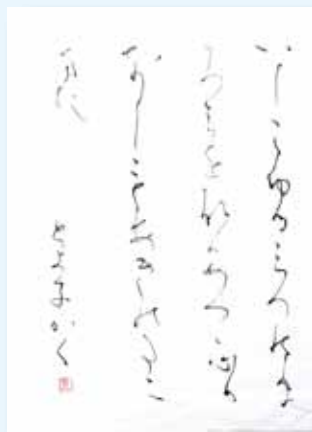
ご冥福をお祈りします

H28. 9. 1～9.30 受付分（敬称略）受付件数 25 件

氏 名	死亡日	年齢	区
告 鋏 道子	9. 2	8 4	湯浦北
久村 民雄	9. 6	7 5	田川
田中 重義	9. 8	8 9	内木場
松村 キミエ	9. 1 0	9 6	井牟田 1
可児 忠子	9. 1 2	8 4	花岡西
山下 親	9. 1 5	8 1	計石西
庵 一男	9. 1 5	8 3	田浦町 3
久保 トヨ子	9. 1 5	9 0	向町
山本 則子	9. 1 7	8 9	湯浦南
山下 澄雄	9. 1 8	7 8	横居木
藤井 ツル子	9. 2 0	9 5	平生
上村 ツネ子	9. 2 1	9 0	井牟田 2
松田 稲夫	9. 2 2	9 3	大岩一
浪崎 幸保	9. 2 3	7 5	波多島
橋本 ヤエ子	9. 2 4	9 4	湯浦南
入口 政志	9. 2 4	8 0	乙千屋
濱本 弘	9. 2 4	8 6	田浦町 2
山下 廣	9. 2 6	8 1	大川内東
山下 正昭	9. 2 7	7 4	田浦町 2
徳永 武	9. 2 9	8 8	大野
松崎 キヌエ	9. 2 9	7 7	湯浦北

※本町窓口届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。

町民講座作品紹介



「秋溪」

西 豊子

書道（かな）



森口さおり

絵手紙



「花かご」

桑本 幸義

竹細工

編集後記

▼「父親であることを楽しむ」というNPO法人の講演取材しました。自分にとって、最も大事なものの人の見つけ方として、「余命あと3日」だと考えて頭に浮かんでくるものだとアドバイスをしていました。この余命を1月1年、10年と伸ばしていくと優先順位がつけやすいそうです。▼自分に置き換えてみると、あと3日しか生きられない…とは正直想像ができません。欲深すぎてやりたいたことがたくさん笑。でも実現のためにはちゃんと優先順位をつけないといけないですね。▼皆さんはあと3日しか生きられないとしたら何をしますか。（上野）

▼先日給食センターを訪ねる機会がありました。栄養士の先生の「調理師さんの中には、お子さんやお孫さんの給食をつくってらっしゃる方もいるんですよ」という言葉や実際に目にした野菜生産者の方の姿に、献立も材料も、そしてつくる人も、愛情たっぷり給食なのだなと思いました。▼毎日給食をつくる皆さんの喜びは、残食が少ないことだそう。児童生徒のみんな、愛情たっぷり給食を残さず食べて身も心も大きく成長してね！（スギ）

空港ラウンジで芦北観光展

阿蘇くまもと空港の2階出発フロアにあるANAラウンジで芦北観光展を開催中です。芦北町自酒「葦分（あしきた）」の無料試飲や観光パンフレットの設置などを10月31日（月）まで行っています。※ANAラウンジの利用はプレミアムクラス搭乗などの条件があります。



芦北町特産品をPR

福岡市で芦北産新米まつり

福岡市の自然食品店ファームで9月30日から芦北産新米祭りが開催されています。ブランド米「大関米」の新米を販売しているほか、特製自酒「葦分（あしきた）」など芦北町の特産品販売も行われています。期間は10月31日まで。



水俣病犠牲者慰霊式

水俣病の犠牲になって亡くなられた全ての生命に慰霊の祈りをささげます。環境再生・創造への誓いの念を共有し、全世界に向け生命、健康、環境の尊さを訴えます。

■日時 10月29日（土）午後1時30分～（雨天決行）

■場所 エコパーク水俣親水緑地「水俣病慰霊の碑」前

※会場まで送迎バスを運行します。

*問い合わせ先
水俣市環境課 ☎（61）1647

■送迎バス運行表

※帰りは逆コースで運行します。

田浦基幹支所前 11:15	ヘルシーパーク 玄関前 12:00	女島バス停（小崎） 12:10
新立宅横広場 自動販売機前 11:20	芦北町役場 玄関前ロータリー 11:50	京泊バス停 （女島・沖） 12:15
JAあしきた 田浦基幹支所前 11:25	計石郵便局前 11:45	福浦バス停 福浦橋 12:20
海浦バス停 11:30	計石温泉センター前 11:40	慰霊式会場 13:00

BOOK

おすすめ図書紹介

町立図書館 ☎（82）2213



「海の見える理髪店」
萩原浩著（集英社）

伝えられなかった言葉。忘れられない後悔。もしも「あの時」に戻ることができたら…。近くて遠く、永遠のようではない家族の日々を描く物語。直木賞受賞作です。



「パンめしあがれ」
視覚デザイン研究所（同）

あんパン、メロンパン、クロワッサン、サンドイッチ…本物そっくりなたくさんのおいしいそうなパンが出てきます。読んだらきつと食べたくなりますよ♪



「ぐうたらでもコレステロールがグングン下がる55の方法」
河邊博史監修（主婦の友社）

血液中に増えすぎると動脈硬化、脳卒中、心筋梗塞などを引き起こすコレステロール。日常生活のちょっとした工夫で下げられます。

芦北観光うたせ船祭

うたせ船クルージング

乗船には当日の受付が必要です。

受付時間：午前8時～正午

(事前の予約はできません)

乗船料：大人500円、小学生以下300円

塩づくり体験、魚さばき体験

どなたでも無料で体験できます。

日時

11月12日(土)

午前9時～午後1時

場所

芦北町漁協前広場

海鮮焼き・鯛の味噌汁・特産品販売

アジアカエビの塩焼きなどのほか芦北町の特産品や海産物、加工品などを販売します。

おいしく炭火で焼き上げた芦北産マガキなどもあります。

*問い合わせ先 商工観光課 観光係 ☎ (82) 2511 (内線173)

第17回 芦北ローラーリ्यूージュ大会 挑戦者求む

日時 11月20日(日)

場所 芦北海浜総合公園

参加資格 身長120センチ以上であればどなたでも参加できます

参加費用 1,000円(保険料含む)

練習ラウンド 申し込みされた人は11月3日～19日までの期間中に1日乗り放題チケットを1,000円で提供します。

入賞者には
あしきた牛など
豪華副賞を贈呈

*申込・問い合わせ先 芦北海浜総合公園 ☎ (82) 5588

芦北町立 星野富弘美術館だより

現在、「あなたのいのち、わたしのいのち」展を開催しています。本展では「いのち」をテーマに星野富弘と自然界の息吹きとの共鳴が生み出した作品を紹介しています。「同じ重さ(ツバキ)や「だれだらう(ツバキの実)」など、今年度新たに収蔵した作品も展示していますのでぜひご覧ください。

「あなたのいのち、わたしのいのち」展
○開催期間 11月13日(日)まで
○休館日 第2・4月曜日
○開館時間 午前9時～午後5時



*問い合わせ先

星野富弘美術館 ☎ (86) 1600

「だれだらう」(ツバキの実) 1986年